

地域の声が聴ける機会づくり

喜志西小学校区

令和5年7月

活動のきっかけ

コロナ禍で地域の方と子ども達の交流が難しい中、今できるつながりづくりの活動を皆で検討しました。



活動の内容

喜志西小学校、梅の里こども園の子どもたちから、地域の方へ日常の様子やメッセージをビデオメッセージにさせていただきました。その映像を福祉委員会や老人会、福祉施設などで視聴いただき、各視聴団体がメッセージボード等を作成し、小学校・こども園にお届けしました。



活動の振り返り

工夫したこと

子ども達の普段の様子、声を聴けるようビデオメッセージにして、地域の方がそれぞれの場で観ていただけるようにしました。

成果

コロナ禍で、地域と子ども達の交流機会を持つことが難しい中、地域の方が学校や幼稚園での子ども達の様子を知る機会となりました。また、対面での交流が再開する際の楽しみができました。

メッセージ交流後、こども園と対面での交流機会ももたれた団体もありました。

今後の展開

地域住民同士がつながりを育み、顔の見える関係づくりが継続できるようにしていきたいです。